

INLINE LOAD での区切りオプション

皆さんは INLINE LOAD を使っていますか？または、使った事がありますか？

簡易的にテストデータを作りたい時やデータベースや CSV にデータを作るまでもない状況の時、

Qlik Sense のロードスクリプトやデータマネージャーを使って、Qlik Sense 内で利用できるテーブルを手軽に作成することができます。

ここでは、ロードスクリプトを利用したときの区切りオプションについて、解説したいと思います。

● INLINE LOAD の構文について

INLINE LOAD は以下のように記載し、項目名と値を指定します。

```
LOAD * INLINE [  
  項目名 1, 項目名 2, ...  
  aaa, bbb, ...  
  ccc, ddd, ...  
  :  
];
```

- 「*」の部分には、通常の LOAD 文と同じように関数なども指定できます。
- 1 行目が項目名になります。
- ロードしたデータは、「INLFED」というテーブル名でロードされます。テーブル名を変更したい場合は、LOAD 文の前に「テーブル名 :」の指定を追加します。

● 区切り文字の扱い

通常、ロードスクリプトでは、フィールドデータは「, (カンマ)」で区切られています。

INLINE LOAD で作成したときに、データ値に「, (カンマ)」が含まれていると、適切に取り込まれません。

<エラーとなる例>

- ・「得意先名,地域」という値で得意先名を作りたい

```
LOAD * INLINE [  
  得意先番号, 得意先名  
  001,札幌フード,北海道  
  002,海鮮くじら,千葉  
  003,小料理あんどう,東京  
  004,洋食ちぐさ,東京  
];
```



INLFED		INLFED	
		得意先番号	得意先名
行	4		
項目	2	001	札幌フード
タグ	\$numeric \$integer \$text	002	海鮮くじら
		003	小料理あんどう
		004	洋食ちぐさ

このスクリプトをロードすると、[得意先番号]フィールドに得意先番号、[得意先名]フィールドに得意先名のみをロードし、地域が無視されます。

そこで、いくつか、対応例をご紹介します。

- 区切り文字 (delimiter) を明示的に指定する

INLINE LOAD 後部に「(delimiter is '記号')」を指定することにより、意図したデータ値を取り込むことができます。

以下例では、区切り文字に「; (セミコロン)」を指定しています。

区切り文字は、コンマ、セミコロン、パイプなどの任意の文字にすることができますが、取り込むデータに使用していない文字を使用することが重要なポイントです。

```
LOAD * INLINE
[
得意先番号;得意先名
001;札幌フード,北海道
002;海鮮くじら,千葉
003;小料理あんどろ,東京
004;洋食ちぐさ,東京
]
(delimiter is ';');
```



INLFED		INLFED	
行	項目	得意先番号	得意先名
4	2	001	札幌フード,北海道
	タグ	002	海鮮くじら,千葉
		003	小料理あんどろ,東京
		004	洋食ちぐさ,東京

- 値を「"" (ダブルクォーテーション)」や「' (シングルクォーテーション)」で囲む

```
LOAD * INLINE
[
得意先番号,得意先名
001, "札幌フード,北海道"
002, "海鮮くじら,千葉"
003, "小料理あんどろ,東京"
004, "洋食ちぐさ,東京"
];
```



INLFED		INLFED	
行	項目	得意先番号	得意先名
4	2	001	札幌フード,北海道
	タグ	002	海鮮くじら,千葉
		003	小料理あんどろ,東京
		004	洋食ちぐさ,東京

```
LOAD * INLINE
[
得意先番号,得意先名
001, '札幌フード,北海道'
002, '海鮮くじら,千葉'
003, '小料理あんどろ,東京'
004, '洋食ちぐさ,東京'
];
```

以上